

日弁連 の提言

若者が未来に希望を抱くことができる社会へ



若者が生きづらい現状は、人格を持つ一人ひとりの人間が個人として最大限尊重されなければならないという「個人の尊厳原理を定める憲法13条」や、「健康で文化的な生活を営む権利(生存権)を保障する憲法25条」等に照らし看過することができません。

日弁連は、一人ひとりの若者が自分の人生や生き方を自己決定できる機会を保障し、若者が希望をもって今を生き、自由な再チャレンジが保障されることで未来にも明るい希望を抱ける社会の実現に向けて、国及び地方公共団体に対し、次の施策の実施を求めています。

若者の生きづらい現状は裏面へ

普遍主義の社会保障・人間らしい労働と公正な分配

若者が置かれた現状を改善するために

- 「生まれた家庭」の経済力や性別など自分では選べない条件に左右されず ▶ 公平な条件の整備
- 試行錯誤しながら、学び、就労し、生活基盤を構築できる

学ぶ 就学前教育・保育から高等教育までの全ての教育の無償化	働く 尊厳ある生活を保障する水準の最低賃金 同一価値労働同一賃金 失業時の所得保障 職業訓練制度の抜本的充実	住む 公営住宅の増設 家賃補助制度の新設	家族・子育て 出産・育児休業、家族給付などの給付の拡充
---	---	-----------------------------------	---------------------------------------

若者が現在及び未来に希望を抱くことができるために

- 保険料や窓口の負担金を納められない人が、サービス等を利用できないことがないようにする
- 窓口負担のない税方式による医療・介護・障害福祉サービス
- 尊厳を保障する水準の税方式による最低保障年金制度の構築

そのためには安定した財源の確保が不可欠

連帯による財源の確保と税制の改善

みんなで負担する税金で支え合うんだね。

- 所得税・法人税
大企業や投資家等への優遇規制を見直す
- 消費税
税収構成及び予算配分において、低所得者の負担が重い逆進性の弊害を低減する
- 保険主義の偏重を是正し、税財源を強化する
- タックス・ヘイブン(租税回避地)対策の強化
他国と連携し、税収の流出を止める



普遍主義と選別主義

	普遍主義	選別主義
社会保障の考え方	全ての人を対象に、普遍的なニーズを満たす	貧しい人を選別する
受給者に対するスティグマ(恥の烙印)	生じない	生じやすい
給付の選別	生じにくい	生じやすい
階層間の分断・対立	生じにくい	生じやすい
租税負担に対する国民の意識	全ての人に受益感があり格差が小さい	受益者の少ない人の格差が大きい
租税負担率/国民負担率	高い	低い

国民負担率の国際比較



2021年の世界的な動き

- アメリカのバイデン政権は、法人税率を21%→28%へ、所得税の最高税率を37%→39.6%へ、全勤所得に対する税率も20%→39.6%へ引き上げ、教育・子育て支援を充実させるなど、格差を是正する中長期計画を打ち出した。
- 英国も、大企業向けの法人税率を現行の19%→25%へ引き上げる方針を決定。
- ヨーロッパでは、欧州委員会がコロナ・パンデミックからの復興と気候変動対策を図る中長期計画として、1.1兆ユーロ(130兆円)の「多年次予算」と、それを補完する7,500億ユーロ(90兆円)の「欧州復興基金(次世代EU)」を決定。

失敗や遠回りをして、ルールをはずれても大丈夫な社会。
いつでも、どこでも、誰でも、やり直しができる社会。
自分らしく生きられる社会。
そんな社会なら、希望を持てると思いませんか？



日弁連は、若者が、当事者、主権者として、社会に参加し、影響力を及ぼし得る環境、場が確保できるように力を尽くす決意です。日弁連の提言は、日弁連HPへ

日弁連 若者決済 Q 検索



JBA 日本弁護士連合会

〒100-0013
東京都千代田区有楽町1-1-3
03-3580-9841(代)